

# 地域のひろば

“安心と安全の福祉のまちづくりを”

府社協 地域福祉部

TEL.06(6762)9473 / FAX.06(6762)9487

## 積極的なコミュニケーションで信頼関係を築く

東大阪市西第2地区民児協では、子育て支援(にこにこ広場)、親子教室、未受診家庭訪問(1歳半、3歳)、愛ガード(小学校登下校時の見守り)などを行っています。

＊(にこにこ広場で)0歳から就学までの成長を見られるのが、楽しみです。



にこにこ広場では、毎月、親子でふれあう遊びも教えてもらいます

## 絵本にふれる穏やかな時間を

寝屋川市民児協では、市内の公立保育所6カ所に手作りの絵本台を寄贈しました。

「子どもたちが読み聞かせて読んでもらった本を、表紙の絵を見て自分で選べるようにしてあげたい」「地域の高齢者や中学生(クラブ活動)など、保育所に読み聞かせに来てくれる方と子どもたちとのさらなる交流の橋渡しになれば」という思いで作製しました。



心をこめてつくります



「みんな大事に使ってね」

子どもたちは、今までよりも絵本に興味をもつようになり、好きな絵本の表紙が見えるように台に並べたり、台の前で、数人が輪になって絵本を読む姿が見られるようになったそうです。

## 11月は児童虐待防止推進月間

## 子育てのしやすい地域に…

子どもの育ちを地域ぐるみで見守り、支える活動を、民生委員・児童委員の温かい目線を交え紹介します。

### みんなで子どもを見守ることができる地域に

箕面市民児協では、一泊里親・一泊里親、子育てサロン、心豊かな子どもを育てる運動地区事業、小学校での放課後学習の支援(一部地区)などを行っています。

＊頻繁に遅刻する子ども、家で朝ごはんを食べられず給食でお腹を満たす子ども、親に怒られて家から泣いて出てくる子どもなどもいて、姿を見なかったらとても心配になります。できるだけ声をかけ、コミュニケーションをとるようにしています。＊大人が変わらないと子どもも変わらない。親のしんどさを支えることが子どもの幸せにつながると思い取り組んでいます。

## やさしい心を育てたい

泉佐野市民児協では、子育て部会が中心となって、毎年「中学生と乳幼児との交流会」「親子のふれあい人形劇のつどい」を実施しています。



自然とやさしい表情になります



みんな熱心に見ています

交流会では、市内の中学生20数人が、命の大切さの話を聞き、抱っこしたり遊びを通して乳幼児とふれあい、お母さんたちの苦勞話を聞く中で、自分たちが大切に育てられていると感じるようです。

人形劇のつどいは、民生委員の有志による「人形劇サークル」のメンバーが手作りの人形で演じており、お母さんたちも見入ってしまうほどの腕前です。また、紙芝居や歌、体操などのプログラムとお土産が用意され、子どもたちがとても喜んでる姿を見ると「また来年も!」という気持ちが湧いてくるそうです。

＊自分にはまだ孫がいませんが、放課後授業で関わっている子どもから声をかけられることもあり、地域の子どもはみんな孫のようでかわいいですね。＊子どもと交流すると、こちらが元気になります。高齢者も見守られているだけでなく、役割を發揮できる場があると、張り合いになってよいのではと思います。



「心豊かな子どもを育てる運動」事業～人形劇を実施～

「児童虐待防止推進月間」の11月は、各地で啓発キャンペーンが行われます。府民児協連のHPでは、昨年度の取り組みのようすを紹介しています!!

大阪府民児協連 検索

## 大阪府民児協連

地域福祉部会・児童福祉部会

# 合同研修会

～社会的に孤立している人々への支援に向けて～

10月7日開催 177人参加

平成30年度の方面委員制度創設100周年に向け、来年度から「社会的孤立をテーマとした調査研究事業を本格的に取り組み予定です。

今年度は、地域で孤立しがちな人々の現状を施設や当事者からの報告を通して学び、民生委員・児童委員の役割について考えました。

### 実践報告

相談の場・集える居場所が身近にある地域づくりをすすめるために

### 泉南市協 地域の「福まち」をめぐって

サロンなど地域の行事を住民や専門職とともに一つずつ大事に取り組むことで、認知症になっても安心して暮らせる、「福まち」をめざしていきたいとの報告があり、認知症サポ



地区委員長 橋野 節子氏

ター養成講座の実施や市民後見人の必要性を語りました。

### 泉大津市協 子どもたちのふれあいの時間を大切に

社協からの依頼を受け、民児協が2カ月に1回実施している子ども食堂「おづみん食堂」と、1日里親事業や福祉バザー、親子広場の協力など泉乳児院とのつながりについて報告がありました。

「おづみん食堂」では、日頃から気になっていいる子どもたちに、食卓を囲んで、民生委員とふれあい、ほっと安心できる場を提供していききたいと抱負を語りました。



会長 松本 千枝子氏

### 当事者や施設から 民生委員・児童委員に期待すること

泉南市介護者(家族)の会の西浦主一会長から

西浦氏は、ご自身の壮絶な介護体験から、介護者や本

人の苦悩、地域住民の認知症への理解促進や誰もが気軽に集える居場所の重要性を訴えました。



社会福祉法人 北野 野雅紀理事長は、児童虐待等の理

由で施設に入所する子どもたちの現状や、より家庭的な養育環境をめざす施設の取り組みを報告しました。

### 講演

### 社会的に孤立している人々への支援に向けて 民生委員・児童委員の役割とは



石川 久仁子氏から、大阪人間科学大 学准教授の石川

民生委員活動の基本「発見・つながり・見守る」を大切にしながら、生きづらさを抱え孤立している人々への支援には、長期間のねばりづよい働きかけが不可欠で、ホームレス経験者や精神障がいの人たちなど社会的に孤立しやすい人たちを専門的に支援する団体などとの連携が必要と語りました。

さらに、社会的に孤立している人たちが集える場と地域住民とも緩やかに交流できる「居場所」が重要であると述べました。

## 全国初！福祉車両カーシェアリング事業

### 池田市社協の取り組み

～地域包括ケアシステムの実現に向けて～

池田市社協は駐車場経営サポートを業務とする(株)リンクスと連携し、平成28年8月1日から、全国で初めての取り組みである車椅子対応型の福祉車両カーシェアリング事業をスタートしました。誰もが住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができることを目指す。

池田市社協の中で抱えているニーズを叶えることができます。開始して間もない中、すでに定期利用されている方もあり、事業の広がりをみせています。車両の設置については現在予定されている7カ所です。将来的には地区福祉委員や民生委員の協力を得て、池田市内の11地区全てにおいて1カ所ずつ車両を設置するのが目標です。



市保健福祉総合センターに設置された福祉車両と事務局長の吉田さん(右)、担当の曾我さん(左)